

危機管理 時系列対応（緊急時の指導体制）

【平素の取組】

- * 問題対応→健全育成（生徒に対する日々の働きかけ）に計画的・重点的に取り組む。
- * 問題が起きにくい学校風土を作り、問題を回避できる生徒を育てる。

【問題発生時】

- * 起こったことよりも、その対応の早さ（速さ）・適切さが問われる。
- * 「開かれた対応」⇒再発防止への取組
- * 優先順位を決めて、「さしすせそ」
 - ・最悪の場面を想定
 - ・慎重に（慌てない）
 - ・速やかに
 - ・誠実に、誠意を持って
 - ・組織的に、相談して（役割分担）

1. 的確な状況把握と迅速な初期対応 <input type="checkbox"/> 情報収集（事実確認・状況把握）；5 W 1 H <input type="checkbox"/> 委員会関係課に一報 <input type="checkbox"/> 誠意ある丁寧な初期対応	現場確認 調査・面接→聞いたことは書面に記録 人証よりも物証を… 場合によりアンケート実施 ・冷静に ・共感的態度で ・4 W 1 Hで傾聴（≠Why） ・「すみません」口癖× ・とりあえず謝罪×	（ ） 教頭 （ ）
2. 緊急対応 (1) 安全措置 <input type="checkbox"/> 病院への搬送手配 <input type="checkbox"/> 応急措置 <input type="checkbox"/> 二次災害の防止策 <input type="checkbox"/> 関係生徒への対応 <input type="checkbox"/> 一般生徒への対応 <input type="checkbox"/> 加害生徒へのケア	※救急車は管理職許可 緊急防災カード できれば集会指導 HRでの話の内容統一 マスコミとの接触指導 登下校指導・巡視体制 学校周囲の巡回	教頭・養護教諭 全員 （ ） 原則：担任窓口 生指係 〃 〃 （（ ）） （ ） （ ）
(2) 報連相と記録 <input type="checkbox"/> 緊急打合せ <input type="checkbox"/> 記録係 <input type="checkbox"/> 電話番 <input type="checkbox"/> 地域・保護者からの苦情対応係 <input type="checkbox"/> 関係機関への報告・連絡・相談 <input type="checkbox"/> 担任・顧問への連絡・指導・助言 <input type="checkbox"/> 全職員への報告・連絡 <input type="checkbox"/> P T A役員への連絡 <input type="checkbox"/> 近隣の学校・校長会への連絡 <input type="checkbox"/> 地域関係者への連絡	メンバー選出・場所確保 緊急連絡方法の確認 全体の時系列記録 電話対応時、横で記録 ・丁寧な言葉遣いで ・社名・記者名・連絡先確認 ・受診時間記録・順番に返答 ・嘘はダメ ・生徒のことは「答えられない。」 感情的な場合は書面を要求 電話・訪問により迅速に対応 場合により暫定的な処遇決定 マスコミ対応注意 掲示物の撤去 職員室の机上整理	校長 or 教頭 〃 （ ） 教頭以外（ ） （ ） 生指係 校長 or 教頭 〃 （ ） 全職員 〃 〃 〃

[illegible]

※ 取材時の答え方のポイント

- ・ 事実のみ答え、憶測では答えない。
- ・ 分からないことは、はっきり「分からない」と答える。
- ・ 報道に関する制限は、丁寧にする。（被害者の家族の心情や生徒の特定に繋がる事柄）
- ・ 人物像としては、生徒であっても、学年、男女ぐらいまでは言わざるを得ない。
- ・ 記者が言う本人特定条件と学校が言う本人特定条件とは食い違いがある。平行線でOK。
- ・ 記者は、公人には強く、読者には弱い。
- ・ 「一般市民の知る権利」を振りかざしてくるが、「そうですか？」
- ・ 学校名は出ないことが多いが、所在地で区町まで出ることもある。
- ・ 記事の内容は、最終的にはデスクの判断。
- ・ 記者は言葉尻をねらっている。→言い切る。「○○かな？」×
- ・ 取材は1回では終わらない、追い取材がある。その際、答える言葉や内容に注意する。

※ 対応に向けて

- ・ 対応を考えるには、
 - 「じっくり考えること」（長期的）
 - 「歩きながら考えること」（中期的）
 - 「走りながら考えること」（緊急）を適切に判断する。
- ・ 困難に立ち向かう時は、平素の取組が試される。
平素より連帯意識を持って、組織的対応を心がける。
- ・ 失敗学：「社長限界でしょ」
 - 社：謝→被害者への謝罪
 - 長：調→調査結果の報告
 - 限：原→原因の明治
 - 界：改→改善策の提示
 - しょ：処→処分・賠償
- ・ 阻止沖においては、「トップに覚悟があるかどうかで決まる。」
トップは平時においても非常時においても覚悟がいる。
トップの覚悟が組織を決定する。
- ・ 学校園においては、教頭の果たす役割が重要である。
校長園の経営方針のよき伝達者であり、具現者でなければならない。